



広報

みまた



年々整備され花見客で賑う上米公園

●町民憲章

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしき三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の遺業を継ぎ郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

一、常に新しい希望をもつて郷土の開発に努めましょう。

一、環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。

一、教育を尊び青少年を健やかに育てましょ。

一、力を合わせねばり強く住みよい町を築きましょ。

1995- APRIL
No.299 4/20

今月の納稅 軽自動車税 全 期

詳しくは
役場税務課へ
52-1111

- 平成7年1月から6月までの間に支払われた給与に係る源泉徴収税額の15%相当額（最高25,000円）が原則として6月に還付され、年末調整時においては、平成7年分の給与に係る年税額の15%相当額（最高50,000円）が控除（六月の減税額を精算）されます。
- ただし、年収が2,000万円を超す人の場合は、年末調整が行われませんので確定申告により精算することになります。
- 今年退職した人が年内に再就職しなかった場合は、来春の確定申告により還付となります。



サラリーマンの特別減税

申告により還付されます。ただし、税の際、再就職先で受けられます。それ以降に再就職した場合は、所得税を含めた還付を、6月の年末調整での還付となります。

申告により還付されます。ただし、控除等申告書」を再就職先に提出した場合は、元の勤務先で納めた税の際、再就職先で受けられますが、それ以降に再就職した場合は、所得税を含めた還付を、6月の年末調整での還付となります。

農業・商業などの自営業者の方で、経済的な理由等によりどうしても保険料を納められないときは、保険料の「免除申請」を行いましょう。

申請をして承認されると、平成8年3月までの保険料が免除され、その期間は年金を受けるための資格期間となります。

免除を受けたら追納

免除を受けた期間の保険料は、過去10年以内にさかのぼって納めることができます。保険料を追納すると、その期間の年金額が三分の一から常額に戻りますので生活にゆとりができるときには、追納することをお勧めします。



町立病院からのお知らせ

四月から毎週土曜日の外
来部門が休診となりました。
尚、急病、救急患者につきましては、従来通り受付をいたします。



国民年金には保険料の免除制度があります。

手話教室の生徒を募集しています

笑いのたえない楽しい講習会です。多数の参加をお待ちしています。年齢に制限はありません。

開講日 5月10日(水)

午後7時30分～9時

場所 老人福祉センター

締切り 5月2日(火)

一般寄付

J.A.都城職員労働組合（代表日置幸一）は、農業まつりの事業益金の一部でワープロ（15万台相当）を購入し、ひまわり作業所に寄贈されました。ありがとうございました。

三股町社会福祉協議会では、忌明寄付を次の通りいただきました。

故人のご冥福をお祈りいたしましたと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。

誠にありがとうございました。

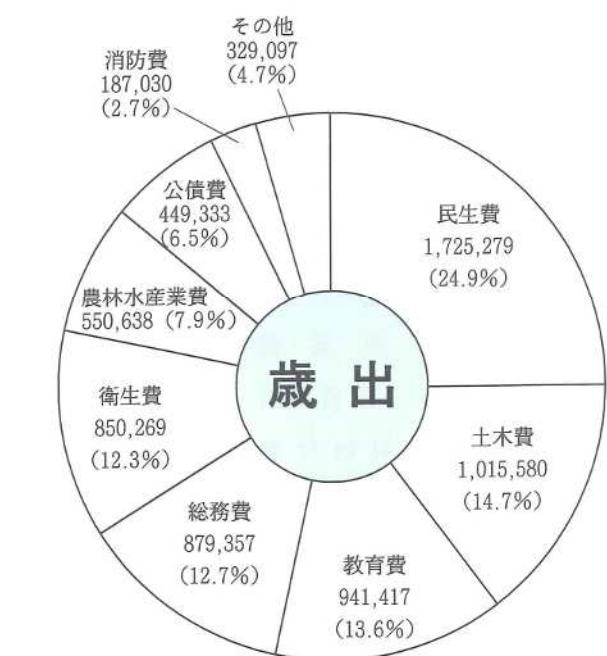
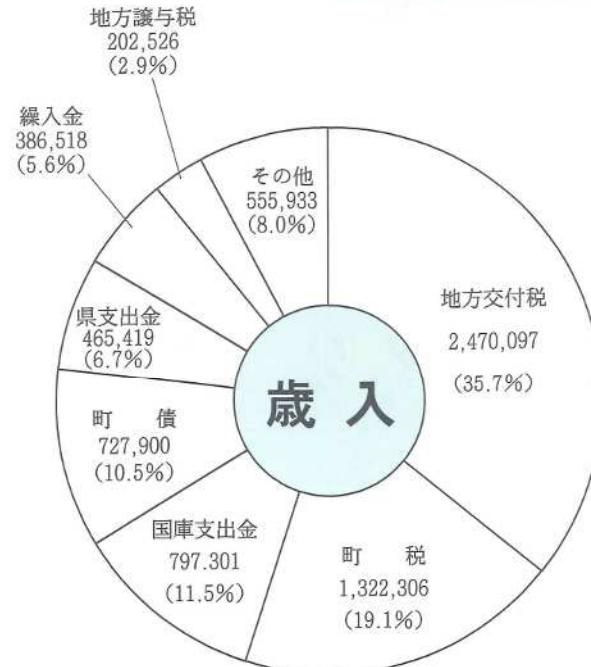
平成7年3月1日から
平成7年3月31日まで

寄付者 浜崎光雄 母 繕柄故人名 嘉藤フミ子81 地区 下新 錄金 2万円

愛のご寄付

瀬尾 清	立山 三保	中村 秀則	黒木 博	永山 優二	横原 式典	下沖 正秋	永右 通夫	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子
弟夫婦 六夫・三和	62・60	父 母	妻 母	母 母	父 母	母 母	母 母	母 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母
2万円																				
瀬尾 清	立山 三保	中村 秀則	黒木 博	永山 優二	横原 式典	下沖 正秋	永右 通夫	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子
弟夫婦 六夫・三和	62・60	父 母	妻 母	母 母	父 母	母 母	母 母	母 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母
2万円																				
瀬尾 清	立山 三保	中村 秀則	黒木 博	永山 優二	横原 式典	下沖 正秋	永右 通夫	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子
弟夫婦 六夫・三和	62・60	父 母	妻 母	母 母	父 母	母 母	母 母	母 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母
2万円																				
瀬尾 清	立山 三保	中村 秀則	黒木 博	永山 優二	横原 式典	下沖 正秋	永右 通夫	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子
弟夫婦 六夫・三和	62・60	父 母	妻 母	母 母	父 母	母 母	母 母	母 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母
2万円																				
瀬尾 清	立山 三保	中村 秀則	黒木 博	永山 優二	横原 式典	下沖 正秋	永右 通夫	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子
弟夫婦 六夫・三和	62・60	父 母	妻 母	母 母	父 母	母 母	母 母	母 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母
2万円																				
瀬尾 清	立山 三保	中村 秀則	黒木 博	永山 優二	横原 式典	下沖 正秋	永右 通夫	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子
弟夫婦 六夫・三和	62・60	父 母	妻 母	母 母	父 母	母 母	母 母	母 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母
2万円																				
瀬尾 清	立山 三保	中村 秀則	黒木 博	永山 優二	横原 式典	下沖 正秋	永右 通夫	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子
弟夫婦 六夫・三和	62・60	父 母	妻 母	母 母	父 母	母 母	母 母	母 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母
2万円																				
瀬尾 清	立山 三保	中村 秀則	黒木 博	永山 優二	横原 式典	下沖 正秋	永右 通夫	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子
弟夫婦 六夫・三和	62・60	父 母	妻 母	母 母	父 母	母 母	母 母	母 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母
2万円																				
瀬尾 清	立山 三保	中村 秀則	黒木 博	永山 優二	横原 式典	下沖 正秋	永右 通夫	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子
弟夫婦 六夫・三和	62・60	父 母	妻 母	母 母	父 母	母 母	母 母	母 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母	妻 母	夫 母
2万円																				
瀬尾 清	立山 三保	中村 秀則	黒木 博	永山 優二	横原 式典	下沖 正秋	永右 通夫	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ	永山 ヨシ子	吉行 藤光	和田 重子	上西 藤光	小林 富士男	福永 フチ</	

一般会計



特別会計・企業会計予算

国民健康保険 特別会計	14億8,180万円
老人保険 特別会計	19億2,795万円
農業集落排水 事業特別会計	5億3,849万円
国民健康保険 病院事業会計	8億2,962万円
水道事業会計	5億7,768万円

自主財源・依存財源

自主財源

町税や使用料、手数料、財産収入などにより、地方公共団体が自らの意志に基づいて徴収するもの。

依存財源

地方交付税や国庫支出金、県支出金などにより、国や県の意志決定で地方公共団体に交付されるもの。

みんなのくらしに
**69億
2800万円**

(単位:千円)

[その他の内訳]

- ・使用料及び手数料 114,410
- ・分担金及び負担金 177,148
- ・諸収入 105,198
- ・財産収入 58,401
- ・自動車取得税交付金 67,914
- ・その他 32,862

[その他の内訳]

- ・議会費 98,263
- ・商工費 148,120
- ・災害復旧費 9,116
- ・諸支出金その他 73,598

福祉の町づくりと 文教の町三股町の 復活を目指して

平成7年度当初予算

総額 122 億 8,354 万円

平成7年度当初予算が、第2回町議会定例会で決まりました。

平成7年度当初予算は

一般会計	69億2,800万円
特別会計	47億7,786万円
企業会計	5億7,768万円
総額	122億8,354万円

となりました。



山元町長は、当初予算などの提案にあたり 次のように述べました

この度の阪神大震災は、未曾有の大災害となりましたが、犠牲者となられました方々に対し、謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害者の皆様の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

私は町長に就任して今日まで、その責務の重大さを痛感しつつ町政に当たって参りましたが、町議会議員の皆様方をはじめ、町民各位から賜りました温かいご理解とご指導、及び力強いご支援をいただき深く感謝申し上げる次第であります。今後とも議会議員の皆様方をはじめ町民各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

また、先の議会におきましては、助役と収入役もご承認いただきまして、ここに三役体制が整い、重ねて感謝申し上げる次第であります。

町政運営に当たりましては「やさしいまち三股町」づくりをモットーに「誇れる三股町」の再生を目指して取り組んでおりますが、このテーマに沿って今後各種事業を積極的に推進して参ります。「人にやさしい町づくり」としては、町民に安心してもらえる町政を推進し、お年寄りや社会的に弱い立場にある人々が、安心して過ごせる福祉の町づくりと「文教の町三股町」の復活を目指すための諸施策を進めて、喜びと生き甲斐を感じる生涯学習の場づくりに努めて参ります。

また、「自然にやさしい町づくり」と致しまして「花と緑と水のまち」三股町の自然と共生できるレジャー施設等の整備と「住みづけていたいまち」三股町建設のため、住環境の整備や農業基盤の整備等に力を注いで参ります。

更に「活力のある町づくり」のために、恵まれた風土を生かし、若者が誇りをもって定住する農畜産業の振興を図り、農村の購買力を高め、商工業の活性化と振興を図って参ります。

これ等を基本に、事業実施に当たっては、三股町総合計画との整合性を持つつ、変革と刷新を求める町民参加の町政、広く町民のご意見を拝聴する開かれた町政に努めて参りたいと存じます。

(町長提案理由説明から抜粋)

住みよいまちづくり



街路費

山王原上米線都市計画街路事業 26400千円

農業集落排水事業

宮村南部地区農業集落排水事業 3億

梶山地区農業集落排水事業 81000

心豊かなまちづくり

教育費関係

町民会館・図書館設計委託料	56111千円
第6地区公民館新築工事	2億50000
中原コミュニティセンター新築工事	38110
中央公民館外壁及び防音改修工事	10000
弓道場増築工事	2300
三股中図書室増築工事	13200
三股中テニスコート改修工事	3955
三股小図書館雨漏り補修工事	2266
勝岡小南校舎屋根防水工事	9050
宮村小運動場土入替え工事	6180
奨学資金貸付金	5016



衛生費関係

資源ごみ回収補助金	1236千円
合併処理浄化槽設置整備事業補助金	36365
一般廃棄物最終処分場建設工事	2億98711
最終処分場水処理施設実施設計	25000
一般廃棄物最終処分場工事管理費	5150

公園費

上米公園整備事業	4500
一町田公園整備事業	35767
植木公園整備事業	50200
椎八重公園整備事業	30000
植木公園排水工事	8000
新馬場公園便所水洗化工事	10000
旭ヶ丘運動公園照明・雨水対策等工事	6500

平成7年度

当初予算のあらまし

安心できるまちづくり

衛生費関係

人間ドック委託料

10548千円 社会福祉協議会補助金 8848千円

婦人健康診査委託料

1554 民生委員活動補助金 7484

国民健康保険関係

一般被保険者・退職被保険者

療養給付費及び高額療養費 10億27911

はり・きゅう補助 12000

老人保険特別会計

老人医療給付費 19億22880

消防関係

防火水槽設置工事 9000

第1部コミュニティ消防センター

設置工事 6800



民生費関係

社会福祉協議会補助金 8848千円

民生委員活動補助金 7484

ボランティア活動補助金 1052

三股町通所福祉作業所運営補助金 2314

重度心身障害者医療費 23988

心身障害者福祉手当 1380

重度身体障害者日常生活用具給付費 1157

身体障害者更生援護施設入所措置費 51076

更生医療給付費 4260

補装具給付事業費 3350

心身障害者タクシー運賃割引 735

老人日常生活用具給付費 3168

ねたきり老人等介護手当 9360

各児童館改修工事 6810

母子家庭医療費 1586

寡婦医療費 1208

乳幼児医療費 3936



いきいきわが町の あれこれ

身近なニュースを待っています



▲ 平成6年度三股町教育研究所の閉所式が、3月14日に行われ10名の研究員が巣立っていきました。コンピュータを取り入れた学習について、年間60回の研修を行いました。



▲ 藤木農産改善グループ（藤木ムツ会長外9名）は、3月25・26日東京佐々木公園で開催された全国農産物展に、ゆべし、あく巻き、よもぎだんごを出品されました。今年で4回目になるということです。



▲ 3月6日から13日まで、阪神大震災被災者支援ボランティア19名が被災地において活動を行いました。活動内容は、救援物資の仕分け、公園・街路等に放置されたゴミの回収、被災者宅の物資運び出し等を行いました。お疲れ様でした。

ボランティア参加者（敬称略）

児玉幸彦（公務員）山田正人（公務員）黒木孝幸（公務員）佐藤孝（公務員）牧原秀夫（公務員）山元博（学生）下石暢彦（学生）斎藤真詩（学生）田浦弘子（公務員）吉田テル子（公務員）田口正子（学生）菊池ヒロ子（主婦）財部一美（公務員）福重久和（公務員）福永朋宏（公務員）長友隆一（社会福祉協議会職員）川野寛明（社会福祉協議会職員）山元真聖（学生）水間明美（公務員）



▲ 3月10日、町内29自治公民館は、阪神大震災被災者への寄付を町民に募り、日本赤十字へ寄付されました。

平成6年度事業完成 並びに継続事業



▲ 一般廃棄物最終処分場用地として、32筆、31.222m²を購入しました。購入費6,0867,225円（用地費、補償費を含む）昨年購入した面積と合わせると66,328m²になります。



▲ 地域農業生産システム確立条件整備事業が、蓼池（4.6ヘクタール）・新馬場（2.9ヘクタール）で始まりました。農業担い手育成のための事業として、生産コストの低減を図るため実施するもの。畠をなくし、平均50アール位に整地にするものです。



▲ 椎八重公園にコンビネーション遊具施設及び広場が完成しました。
花見期間中ばかりでなく、一年中遊べる公園として毎年計画的に事業を進めています。

事業費1,989万円。



▲ 早馬公園に水洗便所が完成しました。
男子トイレ～小便3基・大便1基、女子トイレ3基、障害者トイレ1基を完備しました。

事業費1,500万円、面積27.7m²

◀ 花見原集落にコミュニティーセンターが完成しました。
大会議室・和会議室・調理実習室を備えた施設です。
集落の会議等に幅広く活用してください。
建築面積 213.749m²。
総工事費 33,938千円。

ふるさとの便り

久保 勇

(48)

樅田出身



けど樅山産（瀬尾瀬、好子提供の次女ツギ）の美人と結婚、現在は娘二人（昭子23、弓子19歳）の4人家族です。

女3人に囲まれ、幸せごつもあるが、ちょっとうるせごつもある毎日、親のありがたみが今になつてわかるような気がします。

「ふるさとの思い出」と言えば何と行っても夏の日の夕方、裏の畑から見た西空の、赤く焼けた夕日の沈む光景。何とも言えん眺めじゃった。

夜は一変して、ダイヤモンドをきめきが感じられる今日この頃、三股町の皆さんいかがお過ごしでしょうか。

「ふるさとの便り」で町民の皆さんとお逢いできるなんて、まことにうれしが。

思えば昭和40年、親の言うことも一切聞かず、夢と希望をもつておら東京へいっど。30年過ぎてしましました。

出身は樺山地区の何にもなか樅田で、故秀雄、テルの次男坊として生まれ育ち、ちょっと早かった

贋いの日々

行楽ドライブ、130キロ暴走の惨事

会社員 33歳

膨らんだエアバックにあたまがバウンドし、激しい衝撃音と共に車は止まりました。しばらくして気がつくと、近くから若い人が駆けつけてきて私を車外へ助け出してくれていました。

大破した車の傍らに人が倒れているのを見た瞬間、人をひいてしまったことがわかりました。目の前がまっ暗になり、路肩にがつく

母と共に被害者のお宅を謝罪して翌日、田舎から駆けつけてきた

この世に車がある限り、私と同じような過ちを犯す若者は後を絶たないだろうと思います。



飛龍窯
“どじょう鳥山”
☆ 窯で焼いた陶器で大和どじょう天麩羅、
雑炊、炭焼き地どりをどうぞ！
※ 陶器は販売もしております。



せておいやつた。ほいのこて良き先生達に教えていただきました。

嫁さんは樅山なので知らねーと。

また、缶切り、目だまカッター、チャンバラごっこ等の遊びをしているの

になり、水汲み、風呂焼き、庭掃除をついつい忘れ、兄に良く叱られた。

今でも夢中（パチンコ）になるくせ、直ちよらんごたい。最近の子供は、どんな遊びをしているの

かなー（塾通いで遊べない？）

中学時代は嫁さんと同じクラスになった事もあったごちゃい。三

股のおなごは、まことに面倒見が良く正解じゃった。今も頭があがらねー

担任の黒木、正入来、山内先生お元気ですかね。それにしても、

事ひとつも思い出せすご免なさい。

中学、高校とクラブ活動は柔道部で茨木、桑畑先生には思い切り投げられ、息ができる時もあった。

その甲斐あってか高校の時、県大会で優勝し全国大会（四国）にいく

事がなった。感謝しています。自分

の事だけ書かないでと台所で声がする。

目をつぶり思い出せば、平均台

上、坂元先生お元気ですか。（1年から6年）良くおこられたけど、

坂元先生との昼休みの相撲。別府先生においては（女房の叔父さん、結婚するまで分からず）自分の弁

当を持参できなかつた人に食べさせ代を振り返る。

高野、園田、野見山、別府、田

上、坂元先生お元気ですか。（1年から6年）良くおこられたけど、

坂元先生との昼休みの相撲。別府先生においては（女房の叔父さん、結婚するまで分からず）自分の弁

当を持参できなかつた人に食べさせ代を振り返る。

高野、園田、野見山、別府、田

上、坂元先生お元気ですか。（1年から6年）良くおこられたけど、

坂元先生との昼休みの相撲。別府先生においては（女房の叔父さん、結婚するまで分からず）自分の弁

当を持参できなかつた人に食べさせ代を振り返る。

高野、園田、野見山、別府、田

上、坂元先生お元気ですか。（1年から6年）良くおこられたけど、

坂元先生との昼休みの相撲。別府先生においては（女房の叔父さん、結婚するまで分からず）自分の弁

当を持参できなかつた人に食べさせ代を振り返る。

（400リレー）で全国大会（四国）に出場、親子で体験できたこと、我が家の自慢の一つとなっています。次女は県大会まで、今は失業中の身とか。

5月には三股に2年ぶり家族員で帰省する予定です。故郷は遠くにあり思ふものと言えけど、三股の山々、山田川、学校に通つた道などは帰省する度に、心に安らぎを与えてくれます。

上京し、東京都下水道局に入局、快適で安心して住めるまちづくりに30年。監督、設計、管理業務を経て入れた下水管が一万本おかげで今年100%普及の目標を達成します。

住まいは千葉県九十九里浜海岸の近くで14年。

休みの日は、少しばかりの畠で耕耘野菜づくりと、海で蛤採りに精を出し、暇なしお父さんと近所で評判だ。

在京三股会を結成していただき方々、また、支援していただいている諸先輩の方々、心から感謝いたします。

私もこれからは、だるい山のよだ木と言う名木を1本づつ切り倒し、三股町民であることを誇りとし、頑張っていこうと思います。

最後に三股町のますますの発展と、皆様の健康を願う在京人の一人として、ふるさとの便りといたしました。

私もこれからは、だるい山のよだ木と言ふ名木を1本づつ切り倒し、三股町民であることを誇りとし、頑張っていこうと思います。

最後に三股町のますますの発展と、皆様の健康を願う在京人の一人として、ふるさとの便りといたしました。

私は、学生のころからエンジニアに憧れてその関連会社に就職しました。ある程度期待もされ、育てあげられ、いよいよこれから本當に会社に貢献でき、夢にまでみた私の設計した製品が市場に出回るはずだったのですが、入社後2年でこの事故の責任をとつて退職しました。

次は限元民也さん（樅山出身）にリレーします。

しゃくなげの森
祭期間 5月20日まで
☆500種30,000本
樹齢60年余のしゃくなげ
“華麗に咲くしゃくなげに囲まれて
炭焼きヤマメ料理に舌鼓”



膨らんだエアバックにあたまがバウンドし、激しい衝撃音と共に車は止まりました。しばらくして気がつくと、近くから若い人が駆けつけてきて私を車外へ助け出してくれていました。

大破した車の傍らに人が倒れているのを見た瞬間、人をひいてしまったことがわかりました。目の前がまっ暗になり、路肩にがつく

母と共に被害者のお宅を謝罪して翌日、田舎から駆けつけてきた

この世に車がある限り、私と同じような過ちを犯す若者は後を絶たないだろうと思います。

膨らんだエアバックにあたまがバウンドし、激しい衝撃音と共に車は止まりました。しばらくして気がつくと、近くから若い人が駆けつけてきて私を車外へ助け出してくれていました。

大破した車の傍らに人が倒れているのを見た瞬間、人をひいてしまったことがわかりました。目の前がまっ暗になり、路肩にがつく

母と共に被害者のお宅を謝罪して翌日、田舎から駆けつけてきた

広報のみまた

広報のみまた

